

令和6年度京都丹波未来っ子環境スクール実施要領

1 目的

「森の京都」の豊かな自然を守り、京都丹波地域の次代の子ども達に繋げていくため、地域の地球温暖化防止活動推進員、企業や大学等と協働した環境学習プログラム（以下「プログラム」という。）を実施することで、京都丹波の小学生に対してSDGs(Sustainable Development Goals)[※]を通じて環境への意識醸成を図り、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するとともに、小学校の教育現場の教科と関連づけた効果的な環境学習の機会を提供する。

※ SDGs (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な世界の実現を目指して、2030年までに達成する17の目標を定めたもの（2015年8月に国連サミットで採択）。持続可能な世界とは、将来の世代のための環境や資源を壊さずに今の生活をよりよい状態にすることであり、共に成長し、他者を思いやり、環境を大切にすることが重要。



2 実施機関

京都府南丹保健所（以下「保健所」という。）

3 実施対象者

管内の小学生（対象学年は別添のプログラム集参照）

4 実施小学校数

計15校程度（応募状況によりプログラムや実施時期を調整する場合があります。）

5 実施プログラム

- (1)SDGs（全般）
- (2)SDGs（地球温暖化防止等）
- (3)SDGs（水生生物調査）
- (4)企業協働プログラム^{※※}

※※ 「企業協働プログラム」の対象企業（予定）

亀岡市	・ニチコン亀岡株式会社
南丹市	・雪印メグミルク株式会社京都工場 ・ジヤトコ株式会社八木地区
京丹波町	・株式会社京都環境保全公社瑞穂環境保全センター

- ・授業内容は別途調整します。
- ・移動手段の手配は小学校においてお願いします。

6 学習内容の調整等

- (1) 実施を希望する小学校は市町教育委員会を通じて保健所に回答
令和5年度内に実施小学校を決定（募集期間以降も要望に応じて対応可）
- (2) 次の事項は実施小学校及び協力企業等と保健所が直接調整
 - ア 実施日時及び実施場所（実施日の3月前までを目途）
 - イ 実施内容（実施日の2週間前までを目途）
 - ウ 準備資機材等必要なこと